

## 令和6年能登半島地震に係る日本獣医師会の対応経過

令和6年1月5日現在

[令和6年]

- 1月1日 午後4時10分、石川県能登半島で深さ16kmを震源とするM7.6、最大震度7の地震が発生。津波、家屋の倒壊、火災等甚大な被害をもたらす。その後も同日夜10時までに震度5強の揺れ3回を含む72回の余震を観測。  
本会では直ちに藏内勇夫会長を危機管理室長、佐伯潤理事を危機管理統括とする日本獣医師会危機管理室（以下「危機管理室」という。）による情報収集を開始。午後7時、「日本獣医師会令和6年能登半島地震緊急対策本部」を設置。
- 1月2日 被災地域の地方獣医師会及び地方獣医師会会員獣医師に向け日本獣医師会危機管理室長及び危機管理統括からメッセージを発信。  
同日付け5日獣発第307号「日本獣医師会令和6年能登半島地震緊急対策本部」の設置について」を地方獣医師会会長あて通知。情報収集等の協力を依頼。
- 1月3日 日本獣医師会令和6年能登半島地震緊急対策本部（以下「対策本部」という。）による情報収集を継続。午後3時から対策検討事務会議を開催。
- 1月4日 午前11時、第1回対策本部会議を開催。現地視察対応、アンケートによる状況調査実施、情報提供対応、支援金募集、被災動物救護等の当面の対応について協議。
- 1月5日 午後2時、危機管理室による第1回災害対策委員会を開催。
- 1月7日～8日 対策本部及び本会事務局による現地視察。石川県獣医師会、石川県ほか関係者から情報収集。